



さめうら

平成29年10月台風第21号における早明浦ダムの洪水貯留効果

- 平成29年10月台風第21号における10月18日8時からの流域平均総雨量は、早明浦上流域で約343mm、吉野川上流域では約385mmを記録しました。(10月23日5時現在)
- この降雨による洪水に対し、早明浦ダムは、3,640万立方メートルの洪水貯留を行い、下流の被害軽減に努めました。

	最大流入量	最大流入量観測時間	最大流入時ダム流下量	最大流入時貯留量
早明浦ダム	毎秒約915立方メートル	10月22日23時10分	毎秒約752立方メートル	毎秒約163立方メートル

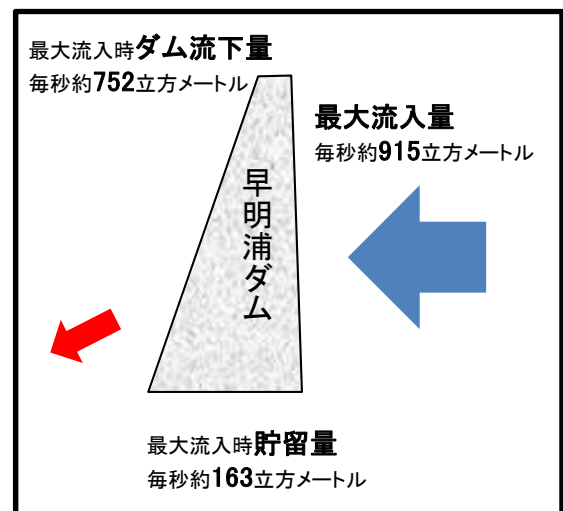
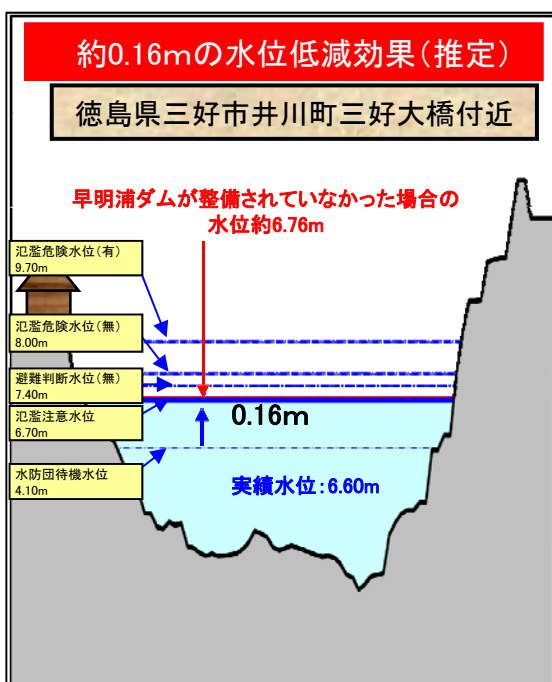
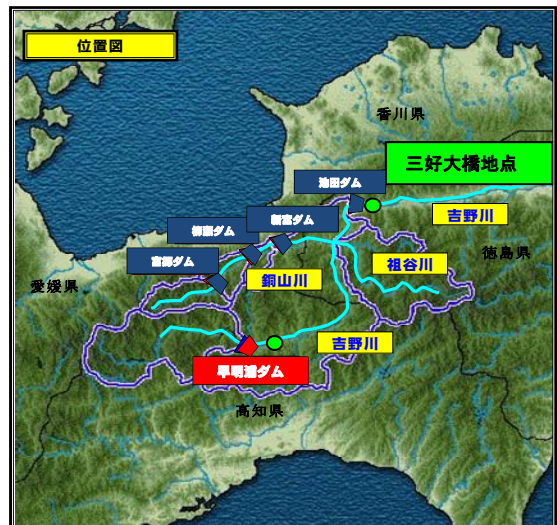
- もしダムが整備されていなければ、早明浦ダム下流の本山橋(本山町) 地点で0.34m、また三好大橋(三好市井川町) 地点で0.16m水位が上昇していたと推定されます。

※本資料における数値は現時点の速報値であり、今後修正する可能性があります。

ダムが効果を発揮(早明浦ダム)

流域平均総雨量約343mm

早明浦ダム上流域では、10月22日8時から23日5時にかけて**流域平均総雨量約343mm**の降雨となりました。



早明浦ダムの洪水貯留

○早明浦ダムへの**最大流入量**毎秒約915立方メートルの内**毎秒約163立方メートル**を貯留することで、ダムから下流への**流下量**を毎秒約752立方メートルに**低減**しました。

○もしダムが整備されていなければ、吉野川中流域**三好大橋(三好市井川町)地点**で**0.16m水位が上昇**し、氾濫注意水位を超過していたと推定されます。

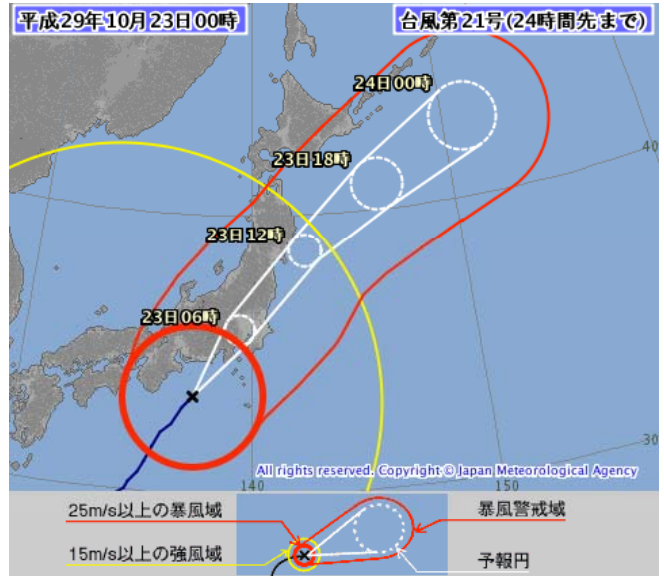
気象概況

～平成29年10月22日 台風第21号による大雨における事例～

○超大型で非常に強い台風第21号は22日から23日未明にかけて、前線を刺激しながら四国に接近し、紀伊半島南の海上から北東方向に抜けました。

○台風の影響により、10月18日8時から23日5時までの流域平均総雨量は、早明浦上流域で約343mmを記録しました。

天気図 (気象庁HPより)



10月18日8時～10月23日5時の累計雨量分布(国土交通省)

